

国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

レジメン名称	胃癌 Trastuzumab+FOLFOX療法(ワンバック)
疾患名	胃癌
診療科名	消化器内科
登録医師名	豊川 達也
適応	HER2(+)、進行再発胃癌の一次治療

臨床区分

<input checked="" type="checkbox"/> 日常診療
<input type="checkbox"/> 単施設自主研究
<input type="checkbox"/> 他施設自主研究
<input type="checkbox"/> 市販後臨床研究
<input type="checkbox"/> 治験

抗癌剤適応分類

<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発化学療法
<input type="checkbox"/> 術後化学療法
<input type="checkbox"/> 術前化学療法
<input type="checkbox"/> 局所療法
<input type="checkbox"/> その他

登録日	2023年6月7日
-----	-----------

1クール期間	42日
--------	-----

実施回数	/回
------	----

Rp	薬品名称	標準投与量	単位	投与方法	ルート	投与時間	投与日								注意コメント		
							day1	-	-	day15	-	day22	-	day29		-	-
1	生理食塩液	100	mL	点滴静注	メイン		●	-	-	●	-	●	-	●	-	-	血管確保用 ※開始から終了までECGモニターを装着すること
2	生理食塩液 トラスツズマブBS点滴静注用	250 6~8	mL mg/kg	点滴静注	メイン	90min	●	-	-	-	-	●	-	-	-	-	初回投与時のみ8mg/kg 2回目以降6mg/kg 初回：90min 2回目以降：30minも可
3	生理食塩液 パロノセトロン静注0.75mg デキサード注射液 6.6mg	100 1 1.5	mL 瓶 瓶	点滴静注	側管	15min	●	-	-	●	-	-	-	●	-	-	
4	5%糖液 レボホリナート点滴静注用	250 200	mL mg/m2	点滴静注	側管	120min	●	-	-	●	-	-	-	●	-	-	レボホリナートとオキサリプラチンは同時に
5	5%糖液 オキサリプラチン点滴静注	250 85	mL mg/m2	点滴静注	側管	120min	●	-	-	●	-	-	-	●	-	-	レボホリナートとオキサリプラチンは同時に
6	フルオロウラシル注 生理食塩液	400 50	mg/m2 mL	点滴静注	側管	全開で	●	-	-	●	-	-	-	●	-	-	レボホリナートとオキサリプラチン終了後15分以内で投与終了
7	フルオロウラシル注 ソルテム3A輸液	2400 2000	mg/m2 mL	持続静注	側管	46h	●	-	-	●	-	-	-	●	-	-	ワンバック(46時間)

備考欄

--

文献

胃癌治療ガイドライン 第6版

減量・中止基準

【2コース以降の投与可能条件】
好中球数：1500/mm3以上
血小板数：75000/mm3以上

【減量基準】（前回の投与後に発現した有害事象により判断）

	最悪時	次回投与量
好中球数	500/mm3未満	L-OHP： 65mg/mに減量 5-FU：20%減量
発熱性好中球減少	発現	
血小板数	50000/mm3未満	
有用器不具合事象 (予防治療した上で発現)	Grade3以上	

5-FU：T-Bilが5.0mg/dL以上の場合は投与中止

参照：がん化学療法レジメンハンドブック改訂第7版 P446-447